

JAL闘争を支える京都の会 News No.76

京都市東山区今熊野南日吉町 17 FAX : 075-531-3856 E-mail : komai123@kfa.biglobe.ne.jp

コロナ禍の時期だからこそ 雇用、命を守る闘いを ～伏見・大手筋商店街宣伝行動～

8月31日、JAL 165名を解雇したJAL稲盛和夫会長（当時：現在JAL名誉顧問）の地元の大手筋商店街（京都市伏見区）で、JAL不当解雇撤回争議勝利をめざす宣伝行動をおこないました。「JAL闘争を支える京都の会」が呼びかけ「ユニオンネットワーク・京都」に結集する皆さんや、「若狭の原発を考える会」の皆さんなど17名に参加していただきました。JAL争議団からは神瀬麻里子さんに参加していただきました。



最初に「京都の会」の駒井事務局長が「私たちは、JALの職員を職場に戻せ、ということだけではなく、こういうことを許せば他の労働者の首切りにも波及していくということで闘っている。コロナ感染の影響で解雇になったり、解雇になっ

て生活が苦しい方がおられると思う。しかし、それは労働者・市民の責任なのか。政府の政策が良くなかったからではないか。政府からの給付金が不十分であったり、給付金の支給が大変遅れているからではないか。救急車を呼んでも入れてくれる病院がなく、何時間もウロウロしたあげく、結局、自宅に戻ってきたケースも出てきている。医療崩壊している。臨時の病院を多く建てるということもできたのではないか。その費用は軍事費を削ってコロナ対策にまわせば良い。立場の弱いものが連帯して、政府に対して要求すべきことは要求し、首切りのない社会、安心して暮らしていく社会をつくって

いこう。そのためにもJAL不当解雇撤回闘争へのご支援をお願いしたい。」と述べまし

た。



続いてJAL争議団の神瀬さんは「私は10年と8カ月前に33年間客室乗務員として勤めた日本航空を解雇になり、その解雇撤回を求めて闘っている。なぜ、ここ大手筋商店街で宣伝行動をしているかというと、私たちを解雇したときのJAL日本航空の最高責任者

が稲盛和夫氏だったからである。稲盛和夫氏の地元がここ伏見であるとお聞きしている。稲盛和夫氏は京セラを一流企業に育て上げた立派な経営者であると聞いていたので 2010 年 1 月に JAL が経営破綻したあと、経営を立て直すために稲盛氏が JAL に来てくださったと聞いて私たちはとても喜んだ。稲盛さんが JAL に来られたあと、JAL は経営破綻したが、解雇はしない、そのような会議が開かれ、希望退職を募ったり、ワークシェアリングで乗り切るということを知ったとき安心をしたことを今でも覚えている。

しかし、2010 年大晦日に JAL は私たち 165 名の首切りをした。稲盛氏は解雇したあと、あの解雇は経営上必要がなかったと記者会見で述べ、裁判所の法廷でも同じことを証言している。最高責任者が必要がなかったと言っている解雇がなぜ 10 年と 8 カ月も放置されたままなのか。必要のない解雇をおこなったのが、JAL 不当解雇である。ぜひこの不当解雇撤回の運動に、ご理解とご協力をお願いしたい。そして、伏見にお住まいの稲盛和夫氏にお会いになることがあったら、晩節を汚さないで解雇を撤回するように、ぜひお伝え願いたい。命を守るために福祉や教育にしっかりお金を使ってほしい、そして私たちが 10 年前にあったような、普通に働いている人を首にするような政策はやめてほしい、8 時間働けば普通に暮らせる世の中になってほしい、命を守る、命を大切にする政治をしてほしい。そういう思いで今ここで宣伝行動をさせていただいている。」と訴えました。

連帯労組関生支部の H さんは「今、金儲けのために、安全・安心を訴え、そしてモノ言う労働組合を破壊する攻撃がおこなわれている。現場の中でしっかりと声をあげていくということがなければ、社会がとても危険なものになってしまう。こういう首切りを許してはならない。」と訴えました。



「若狭の原発を考える会」の H さんは「私は反原発の市民運動をしているが、不当解雇されて 10 年以上闘っておられる JAL の皆さんと連帯して、原発問題と根は一緒だと思って行動している。この後、反原発一人デモをおこなうので、そちらの方にも参加していただきたい。

い。共に闘っていききたい。」と訴えました。

宣伝行動中、ビラの受け取りも良く、話しかけて来られる方も多かったです。「私はレッド・ページで首を切られて 10 年闘ってきた。がんばってください。」と言われた方や、「息子が板ガラスの会社に勤めていて、その職場には組合が二つある。息子が就職するときは組合のことはわからなかったが、わかっていたら闘う組合のほうに入ることを勧めたのに。」と言われた方もおられました。いろんな方に JAL 不当解雇撤回闘争への理解と支援を広められたと思いました。

次回 宣伝行動 (呼びかけ JAL 闘争を支える京都の会)

10 月 12 日 (火) 午後 2 時～3 時 大手筋商店街